

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を応援！ 日糧製パン（株） 7月1日（月）より実施

日糧製パン株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：吉田勝彦）は、2019年7月1日（月）より、北海道が創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」へ寄附させていただき取り組みを、昨年度に引き続き実施いたします。合わせて北海道の未来を担う若者達との取り組みを行い、北海道の活性化に貢献してまいります。

① 『ほっかいどう未来チャレンジ基金』 応援について

当社は、北海道の未来を担う若い人達の夢を応援したいという思いから「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附させていただき取り組みを今年度も実施いたします。今年度は2期間（2ヶ月毎）、計4ヶ月に亘り展開します。

期間及び対象商品：第1期 2019年7月1日（月）～8月31日（土）

ラブラブサンド全10品＋富良野オムカレーコラボ商品2品（下記②の取組み）

第2期 2020年1月1日（水）～2月29日（土）

ラブラブサンド全品＋こどもパン甲子園最優秀商品1品（下記③の取組み）

寄附内容：対象商品の販売個数1個につき0.5円を寄附

販売計画：期間計300万個（150万円予定）



今年発売35周年を迎える「ラブラブサンド」シリーズ



「ほっかいどう未来チャレンジ基金」は、北海道がこの先も活力ある地域として発展していくため、道内外の企業や個人からの寄附金を受けながら、北海道に貢献する意欲のある道内の若者の海外挑戦（留学・活動）を官民挙げて応援するため、平成28年12月に北海道が創設した新しい基金です。学生留学・スポーツ・文化芸術・未来の匠の4コースがあり、平成30年度は9名が海外に羽ばたきました。帰国後も引き続き活躍や定着を応援することにより、「その先の道を切り拓く北海道人」を育てていきます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>

② 地域に貢献する若者達を応援！「ふらのカレンジャー娘 with チームオム」との共同開発商品を発売

当社は、富良野オムカレー推進協議会公認PRユニット「ふらのカレンジャー娘」とのコラボ商品を、7月1日（月）より発売いたします。新たに男性ユニット「チームオム」を加えて活動を行っている同ユニットとの共同開発による2品で、パッケージデザインも生徒達のアイデアをもとにしています。

また、販売期間中には、メンバーによる店頭試食イベントを実施いたします。（7月6日、28日予定）

なお、本品の販売個数1個につき0.5円を①の「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附いたします。



野菜の旨みたっぷりの富良野地方産たまねぎ入りカレーフィリングを使った「富良野オムカレー風ベーコンパン」と「富良野オムカレー風チーズドーナツ」。希望小売価格はいずれも120円

■販売期間：7月1日（月）～8月31日（土）



15代目ふらのカレンジャー娘とチームオムの皆さん
（左から）鈴木朋華さん、成田梨杏さん、
中川華乃さん、手代瑞姫さん、結城大夢くん

③ 未来を担う子どもたちの夢を応援！「こどもパン甲子園」アイデア募集告知と商品化に向けた取組みについて

当社は、岩見沢市で行われている「こどもパン甲子園」の取り組みとして、北海道内の小学生を対象にパンのアイデア募集コンテストを行います。

7月（1ヶ月間）を募集期間とし、入賞作品は10月開催の高校生向けイベント「パン甲子園」（実行委員長：奥野賢一）の場にて表彰を行い、最優秀作品は、2020年1月より商品化して販売する予定です。

「こどもパン甲子園」を企画・運営している北海道岩見沢緑陵高等学校の生徒の皆さんに協力いただき、商品のパッケージデザインも作成してもらいます。

なお、本品の販売個数1個につき0.5円を①の「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附いたします。

募集告知：2019年7月1日（月）～7月31日（水）

当社ホームページと以下商品にラベルを貼付し、募集の告知を行います。

【告知対象商品「ずっしりこっぺ」シリーズ】



ずっしりこっぺ
粒あん&マーガリン



ずっしりこっぺ
ジャム&マーガリン



ずっしりこっぺ
練乳



ずっしりこっぺ
ビーナツ



【募集告知ラベル】

デザインは北海道岩見沢緑陵高等学校の生徒さんによるもの。

表彰：2019年10月6日（日）

「パン甲子園」イベント会場にて入賞作品の表彰を行います。

商品販売期間：2020年1月1日（水）～2月29日（土）

最優秀作品1品を商品化して発売します。「ほっかいどう未来チャレンジ基金」対象商品とします。

「パン甲子園」は、北海道小麦のさらなる消費拡大を目的として、岩見沢市で行われているイベントで、今年で7回目を迎えます。
全道から集まった高校生が地元の小麦粉（きたのかおり）と食材を利用した創作パンで競うコンテストです。
昨年からは北海道の農政部も共催しており、地域のイベントから全道規模のイベントへ成長しています。

「こどもパン甲子園」は、北海道岩見沢緑陵高等学校の生徒さんが企画・実施している小学生向けのイベントです。
「こんなパンがあったらいいな」というコンセプトで小学生からイラストでアイデアを募集し、優秀作品の表彰を行っています。
昨年は岩見沢市内の小学生を対象に約500件の応募がありました。



当社は、今後も「おいしく、北海道らしく。」をコンセプトに、
北海道の活性化に貢献してまいります。

以上